



WHO 第74回世界保健総会で 口腔保健の歴史的な決議



2021年5月27日、世界保健機関(WHO)の第74回世界保健総会において、口腔保健の歴史的な決議が承認されました。WHO は、2022年に向けた口腔疾患への取り組みに関する世界戦略案を作成し、2023年にはその戦略を基に最適な行動計画を立案します。さらに、2030年に向けたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)¹⁾と非感染性疾患(NCD)²⁾の課題の一環として、「より良い口腔保健を達成すること」を示しています。

- 1)UHC: 全ての人が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを支払い可能な費用で受けられる状態
- 2)NCD: 不健康な生活習慣(喫煙、不健康な食事、身体の不活動、過度なアルコール摂取)の結果、発症する疾患の総称

口腔保健の決議で述べられた口腔保健の重要性

- 口腔疾患の有病率は極めて高く、経済的負担も大きいこと
- 口腔疾患は、学校や仕事の欠席につながり生産性を低下させること
- 口腔疾患の多くが予防可能であること
- 口腔疾患は、貧困層や社会的に不利な立場にある人々に多く発生する「健康格差」であること
- 口腔疾患が子どもたちのネグレクトや虐待の指標となり、歯科関係者が発見に貢献すること
- 口腔疾患の多くは、循環器疾患や糖尿病、癌、肺炎、肥満、早産など、他の非感染性疾患との関連が指摘され、口腔の不衛生は誤嚥性肺炎の原因となり得ること
- 口腔保健は、喫煙や食生活など、他の疾患と共通のリスク因子を有すること
- 口腔がんや腫瘍による死亡率に関連すること
- フッ化物や水銀(アマルガム)について
- COVID-19影響を口腔保健サービスが受けたこと
- 妊娠からライフコースを通じた対策の重要性について

など



ODHA
かわら版

「カカオの効果」の巻

緑茶や赤ワインなどポリフェノールを含んだ食品はたくさんありますが、チョコレートの材料であるカカオ豆にもたっぷり含まれています。2月14日のバレンタインデーには、いつもより濃厚なカカオのチョコを自分へのご褒美にいかがでしょうか？

カカオポリフェノール・カカオプロテインの効果

- 1) 血圧低下
- 2) 動脈硬化予防
- 3) アレルギーの改善
- 4) 脳を活性化
- 5) 便秘改善
- 6) 美容効果



お口と体の雑学クイズ

(1) 胃 X 線検査の際に飲むバリウムの成分は？

- A. 重晶石
- B. 重曹
- C. クエン酸

(2) しじみの薬膳効果は？

- A. アルコール分解効果
- B. 痛み止め効果
- C. かゆみ止め効果

(3) 災害時のための水はどの程度のストックが必要？

- A. 1人1リットル×1日間
- B. 1人2リットル×2日間
- C. 1人3リットル×3日間



答え (1)A. (2)A. (3)C.

付録について

ODHA お知らせ65号には、歯科衛生士より紹介された冊子「元気な子」と日本歯科衛生士会より無償提供いただいたサンプル品(デンタルフロス)を同封しています。ご活用ください。